

令和5年度 シラバス

整理番号 T理生物8

教科名	理 科	科目名	生物基礎		
履修学年	1 学年	履 修	<input checked="" type="checkbox"/> 必 修 <input type="checkbox"/> 選 択	単位数	2 単位
使用教科書 副教材等	高等学校 生物基礎（第一学習社）				
学習の目標	・日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けようとする。				

●どのような力を、どのレベルまで身につけるのか【目指す能力とその次元】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	生物や生物現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探求する力を身に付けている。	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度を身に付けている。
評価方法	定期考査、小テスト、実験レポート	発問評価	授業態度

●いつ、何を学ぶか【学習内容】

学期	学 習 内 容	学習活動・ねらい
1 学期	1. 生物の多様性 2. 生物とエネルギー 3. 遺伝子の本体と構造 4. 遺伝情報とタンパク質	・すべての生物のからだは細胞からなることが共通にもつ特徴を理解する。 ・生命活動を行うにはエネルギーが必要であることを理解する。 ・遺伝子とDNAと染色体を理解する。
2 学期	5. からだの調節と情報の伝達 6. 免疫 7. 植生と遷移	・自律神経系と内分泌系によって体内環境の調節していることを理解する。 ・免疫を担う細胞や器官の種類と働きを理解する。 ・植生は遷移していることを理解する。
3 学期	8. バイオーム 9. 生態系と生物の多様性 10. 生態系のバランスと保全	・その地域に生育した植物を基盤に様々なバイオームがあることを理解する。 ・生態系の構成について理解する。 ・人間活動が生態系に様々な影響を与えていることを理解する。